

長崎の教育・学校現場の今を「ととってmotto!」と「NR」で定期的にお届けします。魅力ある学校や教育に関する取り組み、熱心に子どもたちの育成に励む教員たちを紹介します。

公式 YouTube



公式 YouTube チャンネルを開設しました! ぜひチェックをお願いします!

公式 Instagram



「学校のネタ帳」をテーマに長崎の学校の話をお届けしています

時和 県立時和特別支援学校 いよいよ開校へ

時和開校の準備

分校化された2015年度の児童生徒数は62人。時津分校の教育への理解が進み、2023年度の児童生徒数は144人になりました。一方、児童生徒数の増加に伴い国の特別支援学校設置基準による教室不足などが課題になっていました。

校章

校名由来を校章デザインに反映しました

- 時津町に位置し、時津分教室からスタートした和が更に広がり発展していくイメージ
- 令和の和として未来に向けて新しい時を刻む前向きなイメージ
- 長崎県の学校として平和を大切に子どもに育てほしいというイメージ
- 笑顔で和やかな子どもに育てほしいという保護者の願いに寄り添ったイメージ

スクールカラー

グリーン系「ときわ(常盤)色」を選びました

- 時津町の町木は「くすの木」で葉色はスクールカラーに近い。成木期に大木となり、時和の子どもたちが小中高の「時」をかけてく威風堂々と成長するイメージ
- 〈平和〉や〈調和〉をイメージさせる色で時和の「和」の親和性をイメージ
- 「ときわ(常盤)」には「いつまでも変わらないこと」の意味があり、これからの時和の子どもたちと学校の〈長寿〉〈繁栄〉をイメージ

校訓

健やかに 豊かに学び 拓(ひらく)

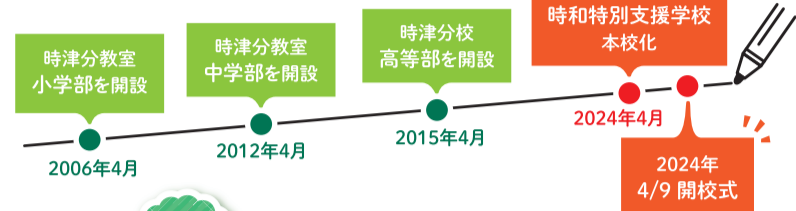
校訓は、学校教育の理念・目標を成文化したものです

- 子どもたちの調和的な発達を支える最も基本的な「健やかな心身」を養う教育を重視
- 生活に結びついた「豊」な体験活動と成功経験から得られる「学」びへの自信や意欲を高める教育を重視
- 卒業後の進路実現に向けたキャリア教育のほか、スポーツや文化活動など生涯学習への意欲の向上を図る教育を重視



校舎増築など

高等部棟増築工事が進行中です。学習室も新設されます。校長室や事務室等の既存棟内部の改修工事はほぼ完成しました。



時和教育のスタート

時津町・長与町・長崎市北西部における共生社会に向けたインクルーシブ教育システムの構築

地域の中で積極的に活動し、地域の同世代の子どもや人々との交流等をする。

地域の人々が、時和の子どもたちと共に学び合い生きる。

キャリア教育、交流及び共同学習の推進

小中学校等の要請に相談・支援や研修協力機能(センター的機能)を効果的に発揮

時和 地域

多様な在り方を相互に認め合える
全員参加型の
まちづくりへ

バリアフリーや合理的配慮の充実につながります。

幼保小中高の教職員の専門性の向上につながります。



スーパー(時津町)での職場実習

次代を担う子どもたちに対し、学校において、障害のある子どもとない子どもが共に学び合い生きる経験を率先して進めていくことは、未来のインクルーシブな社会の構築につながります。



時津小学校と交流及び共同学習

令和5年度長崎県特別支援学校 キャリア検定(事務アシスタント)を実施しました!

長崎県教育委員会は、個々の生徒が進路実現に向けて必要な知識、技能、態度及び習慣を養うとともに、認定資格の取得に向けて主体的に取り組むことで、自己有能感及び職業的自立への意欲の向上を図るため、キャリア検定(清掃・事務アシスタント)を実施しています。

キャリア検定とは?

県教育委員会が特別支援学校高等部の生徒を対象に実施する検定だよ。



検定課題

- (1)宛名シール貼り
- (2)資料の二つ折り
- (3)指示された資料のピックアップ
- (4)封入、封筒のフラップ部折り



特別支援学校高等部生徒32名が、目標の級位取得を目指して、事務作業に関する検定に挑みました。



生徒たちは、日頃の練習の成果を存分に発揮して、2級から10級の級位の認定書を受け取り、誇らしげで堂々とした姿を見せてくれました。

Teacher's File

長崎の学校で生き生きと働く先生たちにスポットを当てます

今回紹介するのは 諫早東高校の

佐仲健吾先生

社会で生きていく力を育成



佐仲先生ってどんな先生?

島原市出身。現在は「通級指導教室」を担当。コミュニケーション能力や自己管理能力などを高める支援や指導を行い、社会に出るために必要な力を育てています。

先生のリフレッシュ方法

時間がある時は、シーカヤックと釣りを同時に楽しむ「カヤックフィッシング」で気分転換!釣った魚は自分でさばいて調理します。

教員を目指したきっかけは

大学卒業後、特別支援学校で臨時の教員をする機会がありました。素直で裏表がない子どもたちと過ごすのがとても楽しく、特別支援学校教諭になりたいと思うようになり、採用試験を受けました。特別支援学校小学部の教員を経て、2021年から諫早東高校の通級指導教室を担当しています。

この仕事に就いて良かったと思うとき

児童や生徒が頑張っている姿、成長した姿を見ることが一番の喜びです。勉強にあまり関心がなく、宿題をする習慣がなかった児童や生徒もいました。教師の支援や指導を受けながら自分の課題に向き合い、少しずつ成果を積み上げることで自信を持つようになった時はとてもうれしかったです。

先生を目指している人へメッセージ

児童や生徒の人生に深く関わるやりがいのある仕事です。自分の関わり方や発言によって、その人の人生がより豊かになる可能性もあります。児童や生徒、保護者、他の先生など多くの人の考え方に触れることで、さまざまな角度から物事を見られるようになり、私自身も成長することができました。